

「リメイク倶楽部」参加者作品展 開催報告

リメイクには古くなったものを再生するだけでなく、付加価値を創り出す面白さがあります。おしゃれな目線でエコを楽しみながら、身近なエコライフに挑戦する参加者の作品27点をご覧いただきました。開催期間来場者数 860名

着物からベスト

Yシャツからエフロン

Yシャツからエフロン

着物のからロングフラウス

着物からベスト



掲載写真は、展示作品です



着物からマフラー



着物からツーピース

帯からエコバッグ



着物からフラウス



着物のからツーピース



ご主人の浴衣から「かすりのフラウス」

平成26年(2014年)1月11日(土曜日) (19) 地域 西



ボタン類のもったいないコーナー



子どものときの羽绒から「半てん」



着物の袖からエコバッグ

「リメイク倶楽部」の本年度の受贈生約30人が、不要な衣類を再利用して製作したバッグやワンピース、マフラーなど約30点を出品した。色鮮やかな着物の帯を使ったエコバッグや、スカートの模様を生かして仕立て直したクッションカバーなど、アイデアあふれる作品が並んでいる。



植物や洋服のリメイク作品が並ぶ会場—浜松市西区のえこはま

不要の衣類から取り出したボタンなどの「もったいない(自由にお持ち帰り)コーナー」も設置しました。開催期間中、9名の方にご利用いただけました。

静岡新聞社の取材がありました。その様子は1月11日(土)付の静岡新聞に掲載されました(上記記事)。